

開講期	2026年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	1126 法令の読み方入門			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	木曜5限				
教室	B205教室				
代表教員	小林 正典				
担当教員	小林 正典				
テーマと到達目標	はじめて法学を学ぶ者が「法令」を読解する上で必要な知識・技法を解説し、身近な税に関する法律を題材に読解力を確認する。				
概要	法令とその体系、法律の制定、法律全体の構造と基本ルール、法律用語、表記。 (予習：配布資料・動画による事前学習、1回の授業あたり120分以上) (復習：配布資料・動画による事後学習、関連文献の閲読、1回の授業あたり120分以上)				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	法令とは、法令の体系と上下関係、法律全体の構造他				対面授業
第2回	法律の制定、「公布」と「施行」、法令番号、法律の本体、本則・附則他				対面授業
第3回	条の構造(条・項・号、枝番号、本文・ただし書、前段・後段、見出し他)				対面授業
第4回	読点のルール、配字のルール、法律用語1(及び・並びに、又は・若しくは)				対面授業
第5回	法律用語2(レベルが二段階以上の場合における「及び・並びに」)				対面授業
第6回	法律用語3(レベルが二段階以上の場合における「又は・若しくは」) <テスト1>				対面授業
第7回	法律用語4(適用・準用、みなす・推定する、科する・課する、場合・とき・時)				対面授業
第8回	法律用語5(以前・前、以後・後、以上・超・以下・未満、以外、その他・その他の)				対面授業
第9回	法律用語6(当該、前項、同項、次の各号、当該各号、それぞれ)				対面授業
第10回	法律用語7(直ちに・速やかに・遅滞なく、者・物・もの、旨) <テスト2>				対面授業
第11回	法律用語8(経過する日・経過した日、起算、期間の計算方法)				対面授業
第12回	法律用語9(その他の用語と留意事項)				対面授業
第13回	表記1(漢字、送り仮名、外来語)				対面授業
第14回	表記2(数字、符号、表記に関するその他の原則) <テスト3>				対面授業
第15回	総まとめ				オンデマンド型オンライン授業
成績評価の基準	テストを3回実施し(第1回目30満点、第2回目30満点、第3回目40満点)、各テストの合計点(100点満点)で成績を評価する。テストに対するフィードバックは和光ポータルを通じて行う。				
履修にあたっての留意事項	資料の配信は和光ポータルの機能を使って行い、資料の形式はPDF ファイルを基本とする。 テストの提示と提出受付、質疑応答も和光ポータルの機能を使って行う。 所定の期限までにテストを提出しなかった場合、理由の如何を問わず未提出のテストの得点は0点になるので注意すること。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細	オンデマンド型オンライン授業方式を実施する回においては、YouTubeを用いて授業の動画を配信する。				
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	白石忠志『法律文章読本』弘文堂、2024年。 法制執務・法令用語研究会『条文の読み方 第2版』有斐閣、2021年。	教科書(ISBN)	978-4335359927 978-4641126268
参考文献	森田宏樹・小泉直樹・石川健治編集代表『ポケット六法 令和8年版』有斐閣、2025年。 法制執務研究会編『新訂 ワークブック法制執務 第2版』ぎょうせい、2018年。 高瀬文人編『ひと目でわかる六法入門 第3版』三省堂、2025年。 大橋洋一『法学テキストの読み方』有斐閣、2020年。	参考文献(ISBN)	978-4641009264 978-4324103883 978-4385321516 978-4641126169

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--